

視 察 報 告 書

報告者氏名 おだぎり たかし ㊞

1 委員会名

つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

2 期 日

令和5年11月10日（金）

3 視察地及び調査事項

（1）三郷流山橋（江戸川渡河部）の現況視察について

4 所感等

令和5（2023）年11月26日開通する「三郷流山橋有料道路（以下、新橋）」（事業者：埼玉県、千葉県、埼玉県道路公社、道路管理：埼玉県道路公社）を、開通前に特別委員会で視察した。



（1）平成5年、流山橋の慢性的で深刻な渋滞の緩和・解消を目指し、平成5年（1993年）の建設に向けた組織が立ち上げられており、事業化から開通まで30年余となる事業となった。概要は以下の通り。

【開通区間】埼玉県三郷市前間（ぜんま）地内（県道三郷松伏線）～千葉県流山市三輪野山（みわのやま）地内（県道松戸野田線バイパス）

【延長】約2.17km（うち江戸川渡河部は約450m）

【車線数】2車線（暫定）…当初計画4車線

【総事業費】約217億円（歩行者のみ無料）

【決済方法】現金のほか、キャッシュレス決済（交通系電子マネー）

一、W A O N、E T C G O（利用可能な E T C カード発行会社：三井住友トラストクラブ株式会社、対象 E T C カード：ダイナースクラブ（コーポレートカード会員を含む））



（２）平成 1 1 年に議員となって以降、毎年議論がされてきた経緯を体感してきただけに、多くの関係者の様々な努力の結実は今後の市政づくりに大いに参考となった。

特に、市内複数ルート案から現行ルートへ絞り込む経緯などは、議員の重責を深く感じる場面であった。また平成 2 1 年 8 月 2 5 日「覚書」（流山市と周辺自治会及び周辺住民の会（巨大道路の建設に反対する三輪野山と周辺住民の会及び巨大道路用地不買同盟））の努力に恥じないように、今後、周辺環境に配慮された、安全で快適な道路となるよう誠実な道路管理とともに、議会側のチェックが必要と考える。

（３）今後、本格的開通による影響を注視しつつも、現時点では、① E T C がこれほど普及した社会でありながら、新橋の E T C（1 0 月 5 日現在）は、イオンフィナンシャルサービス株、トヨタファイナンス株、三菱 UFJ ニコス株、ユーシーカード株、三井住友カード株、SMBC ファイナンスサービス株、株オリエントコーポレーション、株ジェーシービー、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、株クレディセゾン等）が利用できない。料金所の混雑緩和と安全確保のためにも早期対応拡大が必要と考える。

② 新橋出入口は、道路塗装などで一定整理されたものの、逆走や進行道路の見誤り、流山市道との合流による危険性を感じた。

③ おおたかの森方面に向けて交通量の大幅増加に伴い、登下校時の子どもの多さから表示型歩行者信号機の設置や、東武バスの大畔バス停の変更等、危険注意箇所へ注視したい。



(4) 新橋は広域幹線「都市軸道路」の一部をなし、都市軸道路は、日本政府とアメリカ政府による『プラザ合意(1985年)』に基づく「業務核都市構想(東京⇨柏⇨つくば市⇨水戸市、大宮市⇨越谷市・草加市⇨柏市⇨千葉市：<https://www.mlit.go.jp/crd/daisei/gyoumukaku/>)」の中心的幹線道路という国家的プロジェクトの位置づけや側面がある。更なる大規模開発の誘導・大規模な自然破壊につながる可能性もあり、注視したい。